



令和4年(2022年)第15週 2022年4月11日(月)~2022年4月17日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報



●海外へ渡航される方へ気をつけてほしい感染症情報

新型コロナウイルスの影響で、海外旅行は行きたくても難しい状況にあります。しかし、徐々に緩和され、条件をクリアすれば渡航可能な国が増えてきています。海外には、日本にない病気もたくさんあり、時差や気候の違いなどにより、免疫力が低下し、病気にかかりやすくなってしまいます。最新の情報や知識を得て、無理のないスケジュールを心がけ、楽しい旅行にしましょう。

①水や食べ物に気をつけましょう。

- ・生水(水道水も)、氷、カットフルーツには、注意しましょう。
 - ・食事は、十分火の通った信頼できるものを食べましょう。
- 「現地の人が大丈夫だから、自分も大丈夫。」という考えは誤りです。



「外務省海外安全ホームページサイト内、海外安全虎の巻2022」



②蚊やマダニに刺されないようにしましょう。

- ・蚊、ダニに刺されないように、服装に注意し、必要があれば虫除け剤を使い対策しましょう。(デング熱・ジカ熱などは、蚊に刺されることで感染します。)

「FORTH海外渡航のためのワクチン」



「海外へ渡航される方へ気をつけてほしい感染症情報」



③動物にむやみに近寄らないようにしましょう。

- ・動物は、狂犬病、MERS(ラクダ)、鳥インフルエンザなどのウイルスを持っていることがあるので、むやみに触らないようにしましょう。
- ・生きている鳥や動物が売られている市場、裏側または養鶏場を訪問することは避け、野生または飼育されている鳥(生きている又は死んでいる)に触れないでください。

④渡航前のワクチン接種を検討しましょう。

- ・海外渡航の際には、渡航先や渡航期間、活動内容に応じて、予防接種を受けることをお勧めします。数回(2~3回)接種する必要があるものもありますので、なるべく早く(できるだけ出発3か月以上前から)、医療機関や検疫所で、接種するワクチンの種類と接種日程の相談をしましょう。

⑤帰国後に体調が悪くなら。

- ・海外旅行後の体調不良には、思わぬ感染症が潜んでいる可能性があります。病気によって潜伏期間も違うため、必ず受診前に医療機関へ電話で相談し指示に従って下さい。また、症状に加えて次の情報を整理しておき、医師に伝えましょう。



【*旅行先 *旅行期間 *旅行の目的 *旅行中の行動 *宿泊先の状況(虫除け対策ができていたか) *予防接種歴 *動物との接触の有無】

なお、受診の際は感染が広がらないよう自家用車を利用するなど、公共交通機関の利用を避けてください。

期 間		2022年 14週		2022年 15週	
		4/4~4/10		4/11~4/17(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	➡	3	0.19	5	0.31
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	1	0.06	1	0.06
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	1	0.06	2	0.13
感染性胃腸炎	➡	70	4.38	62	3.88
水痘(みずぼうそう)	➡	1	0.06	0	0.00
手足口病	➡	0	0.00	0	0.00
伝染性紅斑(りんご病)	➡	1	0.06	0	0.00
突発性発しん	➡	8	0.50	8	0.50
ヘルパンギーナ	➡	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	2	0.40	2	0.40
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00